



こんにちは、2013年、工房の名称を変えました。  
「フラクタル」といいます。  
この意味は神秘的でも興味深いものなので、「フラクタル流」であり紹介していこうと思っておりますが、簡単な説明は以下に書いています。  
実は、宇宙の創世から、あらゆる生命活動まで、このフラクタルの神秘がかくされているような気がします。太陽や地球などの天体はなぜすべて丸い形をしているか？木々やその根っこはなぜあんな形になっていくのか？人は何故みんな人の形に成長していくのか？  
また、この工房通信を再開して月一回程度で配信していきますので、お楽しみに。

## フラクタルって何？

昔むかし神様は、粘土を使って、自分の姿そっくり人間を創りました。  
そして鼻から息を吹き込むと出来たのがアダム。そう、あのアダムとイブの「アダム」です。

つまり、神様は自分の相似形として人間を創った訳で、こういう形の関係もフラクタル（自己相似）といえます。

上記の物語が綴られた旧約聖書はヘブライ語で書かれておりなんと、粘土のことをヘブライ語で「アダマ」と言います。「アダマ」「アダム」いやいや面白いですね(\*^^)v

## 連載『タニシの大冒険』

由良作

今日も白鷺（しらさぎ）が来た。沼地に降り立つ白鷺の姿はいつでも優雅である。いつもどおりののどかな田園風景。そんな田園の片隅から奇妙な会話が聞こえてくる。

「そんなにサッサとしちゃだめだっていつも言ってるでしょ！ もっと、だらだら、ゆっくりと動きなさい。それに、なんですか、体をそんなに綺麗にしまして。ちゃんと、そこいらの泥を身体中にぬっときなさい。」

どうも男の子がお母さんに叱られている様子、だけど・・・なんか変？  
ここは、日本という国のとある田園に生息するタニシの村である。この村でタニシの天敵は、なんと、あの優雅な白鷺。今日もドジな子供たちが何匹か連れ去られた。・・・（続く）



## フラクタルについて

左のようなシダの葉っぱから枝分かれしている小枝のひとつひとつをよくみると、葉っぱ全体の形に良く似ているのが分かります。  
こんな風に同じ形のくりかえしで全体の形が出来ている状況もフラクタル（自己相似）といえます。自然をよく観察すると、いろんなところにフラクタルがあるのが分かります。



## 自己相似？



神様は粘土を使い、限りなく自分の形に似せて人間を創りました・・・とさ！



「陶芸工房フラクタル」城南区梅林 2-11-9  
地下鉄七隈線梅林駅から徒歩で2～3分です

